

**日本精神神経学会
利益相反(COI) 開示
筆頭発表者名: 丹羽 真一**

**演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。**

福島県の被災・支援状況と 今後の復興ビジョン

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

丹羽 真一

精神科医療福祉の被災状況

ひまわりの家3(就労支援B型)

- ・ひまわりの家(就労支援B型)
- ・3月下旬再開 フラット
- ・グループホーム7か所(ひまわりの家)

- 4月縮小再開あさがお(就労支援B型)
- 6月縮小再開ほっと悠(就労支援B型)
- 休業グループホーム3か所(雲雀ヶ丘病院、小高赤坂病院)
- 4月再開グループホーム・ケアホーム3ヶ所(あさがお)

他地域で再開検討中コーヒータイム(就労B型)

休止中あおば共同作業所(就労支援B型)

いわきへ移転再開 結いの里
相談支援事業所、グループホーム)

雲雀ヶ丘病院
6月下旬～
外来週2日のみ

小高赤坂病院
休診

双葉厚生病院
休診

双葉病院
休診

高野病院
縮小営業中

警戒区域



2011.8.1現在

米倉一磨氏作成

支援状況

いわき市

- ・全国各大学、自治体、公立・民間病院から多数チーム
- ・3月19日から6月くらい
- ・現在、精神神経学会、帝京平成大学など定期的に、主として子供と母親支援

中通・会津

- ・県内の病院が分担して避難所まわり
- ・全国自治体チームが4月から6月まで

相 双

- ・公立相馬病院の臨時外来
- ・仮設住宅での保健活動



医療活動1: 外来

公立相馬総合病院における臨時精神科外来

月曜日～金曜日 13:00～15:00

精神科医2名体制で対応



患者数：15名前後／日

疾患：■統合失調症

■気分障害

■てんかん

■アルコール依存症

■身体表現性障害

■発達障害

■認知症

■PTSD

年齢：小児（幼児）～高齢者（80歳代）

医療活動2：訪問看護・往診



米倉看護師（元雲雀ヶ丘病院／現相双保健福祉事務所臨時職員）を
チームに展開



訪問件数：3～4件／日

訪問目的：

- 薬物療法の効果／副作用のモニタリング
- 薬物調整←医師と共に往診
- 衝動性のコントロール
- ストレスマネジメント
- 生活状況の把握／QOL向上（活動範囲拡大）
- 家族調整

保健活動1：保健センターでの展開

5/21～

<スタッフ>

■福島県立医科大学大学院

精神看護学領域修了生が中心

■県立矢吹病院OT・PSW・CP

県立医大心身医療科病棟OT

■ボランティア団体

(TeamJAPAN300)からの協力

■その他

東京近辺大学院心理学専攻学生

ちょっとここで
一休みの会

毎週**土曜日**開催します
時間・・・10時30分～12時00分
場所・・・相馬市保健センター



どなたでもご参加になれます。

お子さんも一緒にどうぞ・・・

リラックスする方法を練習します

順次、趣味講座なども開催していきます

ご希望があれば個別にお話を伺います

お茶を準備してお待ちしています
ので、気楽にいらして下さい。



福島県立医科大学
心のケアチームより

保健活動2:仮設住宅での展開 6/30~

2年間継続

いつでもここで一休みの会 in 刈敷田
毎週水曜日 開催します
時間...10時30分~12時00分
場所...刈敷田第一仮設住宅の談話室

どなたでもご参加になれます。
お茶を準備していますので、気楽にお立ち寄り下さい。
おしゃべりして気分転換しましょう
ご希望があれば個別にお話を伺います
ご連絡を頂ければ家庭訪問もいたします

心のケアチームより
【問い合わせ先】080-5949-8713 (米倉:平日9-17時)

いつでもここで一休みの会 in 東グランド
毎週木曜日 開催します
時間...10時30分~12時00分
場所...東グランド仮設住宅の集会場 (中央にある所)

あなたでもご参加になれます。
準備していますので、気楽にお立ち寄り下さい。
おしゃべりして気分転換しましょう
できれば個別にお話を伺います
ご希望があれば家庭訪問もいたします

心のケアチームより
【問い合わせ先】080-5949-8713 (米倉:平日9-17時)

いつでもここで一休みの会 in 大野台第三
毎週日曜日 開催します
時間...10時30分~12時00分
場所...大野台第三仮設住居集会場

あなたでもご参加になれます。
準備していますので、気楽にお立ち寄り下さい。
おしゃべりして気分転換しましょう
できれば個別にお話を伺います
ご希望があれば家庭訪問もいたします

心のケアチームより
【問い合わせ先】080-5949-8713 (米倉:平日9-17時)

「いつもここで一休みの会」活動

■ 目的

- ◆ 相談窓口としての機能
- ◆ 集いの場の提供
- ◆ 各種教育的アプローチの拠点
- ◆ 仮設住宅内における訪問支援の拠点

参加状況(初回～2回目)

- ▶ 各会場:4名～20名の参加
(高齢の女性中心)

■ 活動内容

- ◆ お茶(夏は麦茶等)を準備して、提供する
- ◆ リラクゼーションや健康体操などを実施する
- ◆ ミニ講座などを実施する
(例:アルコールへのかかり方・ストレスへの対処法など)
- ◆ 個別相談を必要とする人には、相談に応じる
(カウンセリング・外来紹介)
- ◆ 訪問を必要とする人を把握し、継続的な訪問活動を実施する

心のケア

—その課題と方向性—

特集 東日本大震災

放射性物質 セシウム134、137の 蓄積量

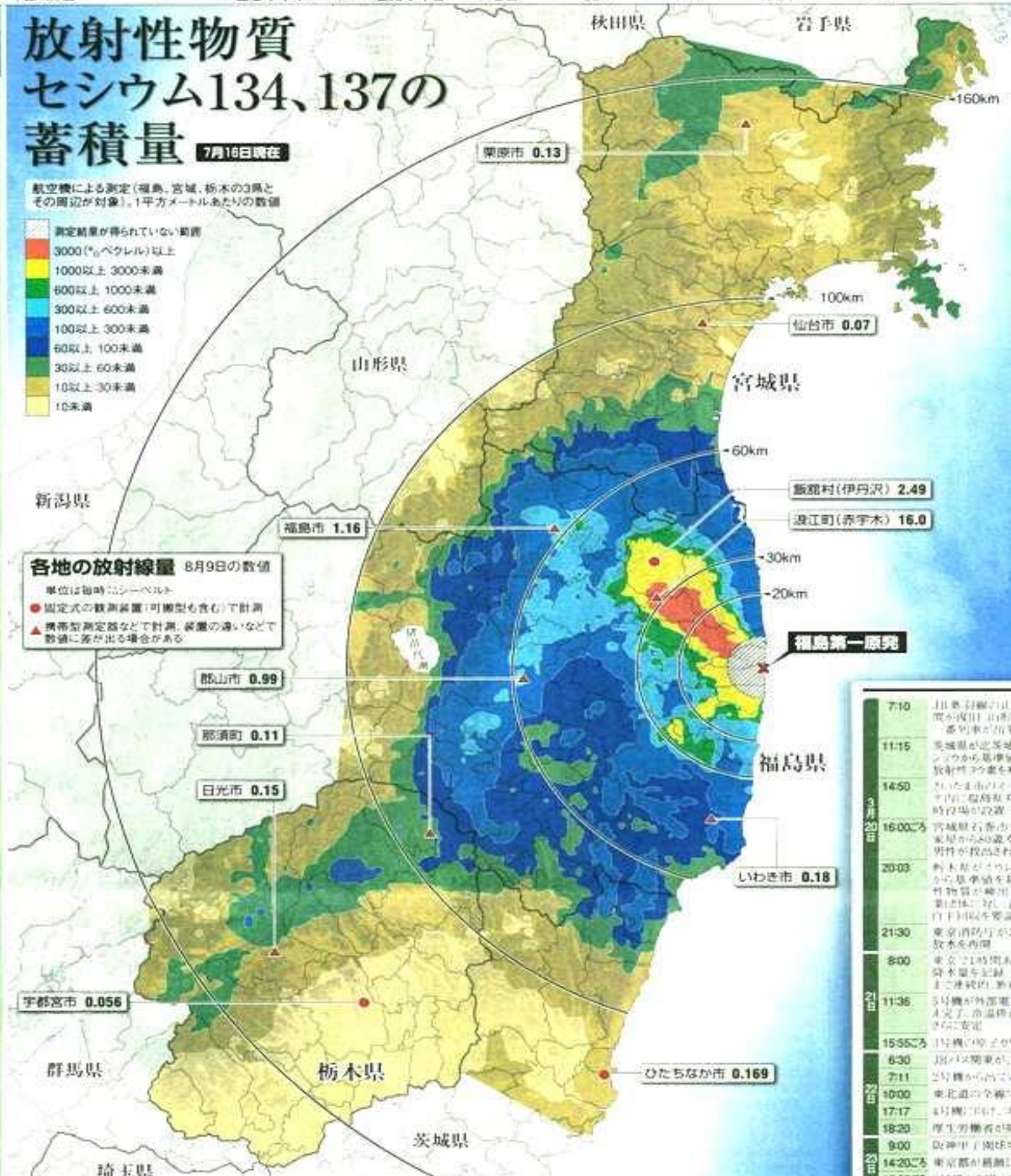
7月18日現在

航空機による測定(福島、宮城、栃木の3県とその周辺を対象)、1平方メートルあたりの数値



各地の放射線量 8月9日の数値

単位は毎時1シーベルト
 ● 固定式の放射線量計(可搬型も含む)で計測
 ▲ 携帯型測定器などで計測、誤差の多いなどで数値に差が出る場合がある



栗原市 0.13

仙台市 0.07

新郷村(伊丹沢) 2.49

浪江町(赤字木) 16.0

福島第一原発

福島市 1.16

郡山市 0.99

郡須町 0.11

日光市 0.15

福島県

いわき市 0.18

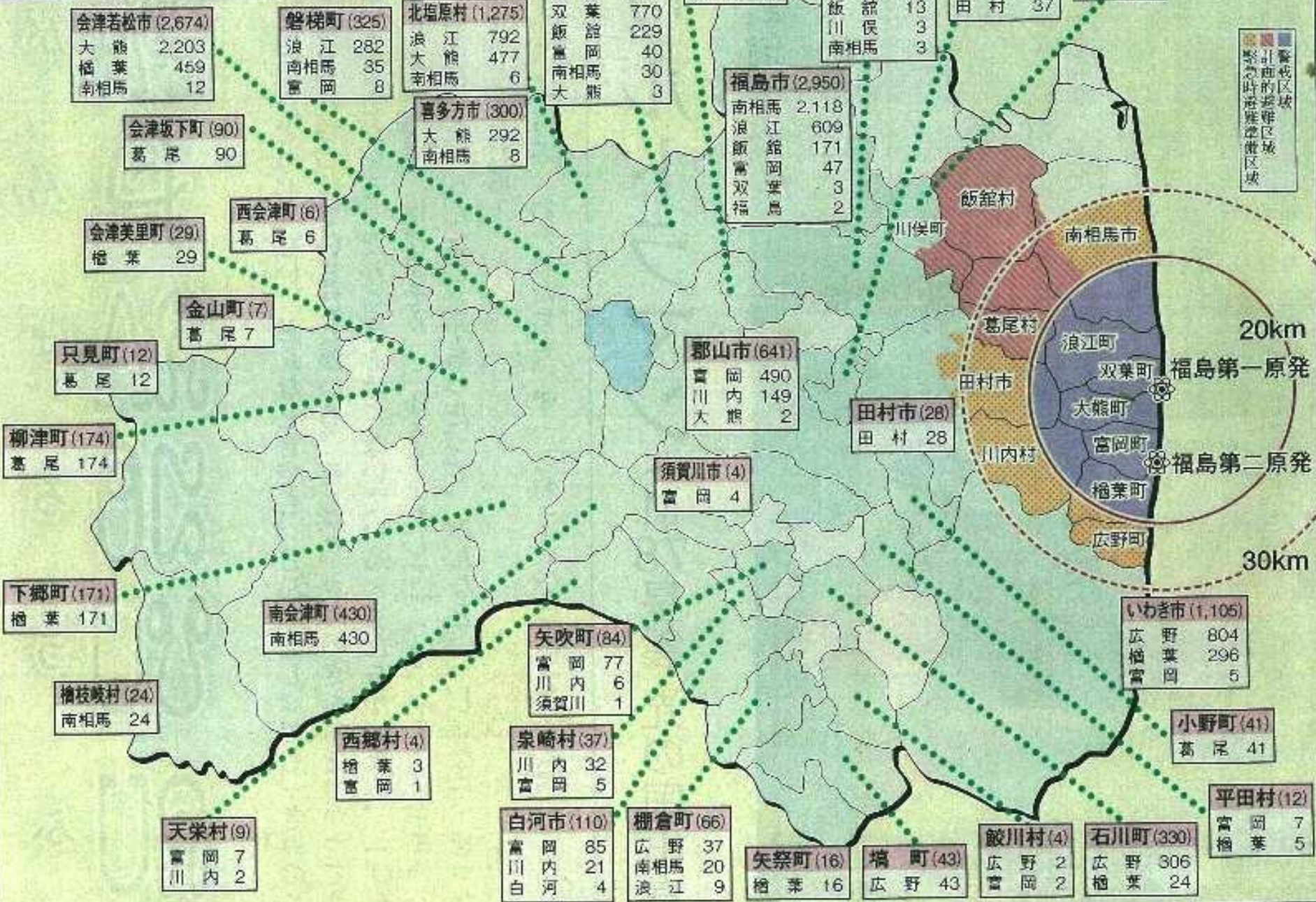
宇都宮市 0.056

ひたちなか市 0.169

7:10	福島県内の山間部が放射線量計で測定された。放射線量計が壊れた。
11:15	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
14:50	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
16:00	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
20:03	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
21:30	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
8:00	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
11:36	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
15:55	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
6:30	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
7:11	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
10:00	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
17:17	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
18:20	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
9:00	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
14:20	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。
16:20	福島県が福島県庁から福島県庁に放射線量計を設置した。

市町村別の二次避難状況

※6月現在(原簿へ)
単位:人



県人口流出続く 33年ぶり200万人割れ

仮設住宅着工状況

※5日現在（県調べ）

所在市町村	戸数	妻崎市町村別戸数
福島市	1,382	浪江 924
		双葉 120
		飯館 338
二本松市	1,069	浪江 1,069
伊達市	126	飯館 126
本宮市	475	浪江 475
国見町	100	国見 63
		飯館 37
桑折町	300	桑折 14
川俣町	230	浪江 286
		川俣 230
大玉村	648	富岡 648
郡山市	1,273	富岡 622
		川内 401
		双葉 250
須賀川市	194	須賀川 194
田村市	360	田村 360
三春町	770	富岡 330
		葛尾 440
鏡石町	100	鏡石 100
白河市	260	白河 140
矢吹町	85	双葉 120
西郷村	42	矢吹 85
会津若松市	884	西郷 42
		双葉 879
会津美里町	259	双葉 5
猪苗代町	10	橋本 259
相馬市	1,500	双葉 10
		相馬 1,000
		飯館 164
南相馬市	2,134	南相馬 243
		浪江 93
新地町	573	南相馬 2,134
いわき市	2,673	新地 573
		いわき 189
		広野 678
		橋本 975
		富岡 292
双葉	259	双葉 259
		大川 50

本県の避難状況

⇒ 矢印は役場機能の移転状況

総人口

震災前 202万4,401人(3月1日現在)
震災後 199万7,400人(7月1日現在)



震災後の公立学校の県外転校者数

小学生 5,710人 (7月15日現在)
中学生 1,962人 (7月15日現在)
高校生 1,028人 (8月1日現在)



1次避難所

ピーク時(9月16日現在) 7万3,608人(403カ所)
9月6日現在 241人(8カ所)



2次避難所

ピーク時(6月2日現在) 1万7,902人(541カ所)
9月6日現在 3,668人(249カ所)



仮設住宅

9月5日現在
着工戸数 15,447戸
入居戸数 10,191戸



借り上げ住宅

9月5日現在 2万1,226戸



全世帯が避難している檜葉町による 全世帯対象調査の結果（2011年8月）

回収率 1995／2900 世帯 （68.8%）

体調が悪くなった家族がいる？

少し悪くなった家族がいる 53.8%

非常に悪くなった家族がいる 17.7%

家族に次のような人がいる？

先の見通しがつかず精神的につらい 72.2%

睡眠があまり取れない 3割超

することがなく生き甲斐がない 3割超

アルコールを飲む回数や量が増えた 17.8%

収入が全くなくなった 21.7%

こころのケアの課題

- 1 精神疾患患者の治療の継続と維持
- 2 震災・原発事故のために新たに発生するPTSDやアルコール依存などへの早期介入
- 3 放射能汚染の不安への対処
- 4 高齢者の認知機能低下の抑止
- 5 自殺の抑止
- 6 医療・福祉スタッフのメンタルケア力の向上

こどもの心のケア

厚生労働省

福島県災害対策本部

県知事

派遣要請

日本児童青年精神医学会・日本小児心身医学会派遣専門医

チームを構成:
下記地域で予約診療・相談

県障がい福祉課

県臨床心理士会派遣臨床心理士

県立医大災害対策

県精神保健福祉センター
＜地域ニーズの全県調整＞

会津 診療・相談: 県立会津総合病院

会津 相談: 会津保健福祉事務所

＜心のケアチーム＞

中通り 診療・相談: 総合療育センター・県立矢吹病院・福島医大

＜こどもの心のケアチーム＞

浜通り以外

【日本児童青年精神医学会】
【日本小児心身医学会】

浜通り以外地域でのチーム編成
県内精神科医(精神科病院協会・診療所協会等)・臨床心理士会・PSW協会・看護協会

- # 専門医/臨床心理士ペアで予約診療
- # 保健所乳幼児健診で、児観察・母の相談
- # 避難所での親子を対象とした相談・診療
- # 放射能に関する適切な啓発活動
- # 小児科クリニックと児童相談所の連携

【福島県精神医学会】
【福島県臨床心理士会】

相双地域でのチーム編成
県外からの精神科医師
看護師・心理士・PSW等
医大: 精神科医
医大: 看護学部職員(精神)
相双保健福祉事務所保健師

診療・相談: 公立相馬総合病院

相談: 相馬市保健センター

相双

【福島県児童家庭課・児童相談所】
【福島県養護教育センター】

【福島医大医学部】
小児科学講座
神経精神医学講座

いわき市でのチーム編成
医大: 精神科医
医大: 性差医療センター医師
+ 医大: 看護師・CP

診療・相談: 長橋病院

いわき市

【福島医大看護学部】
精神看護学領域
心理学教員

相談: いわき市保健福祉センター

相双に新しい精神科
医療・保健・福祉システムを
つくる会の事業

公立相馬総合病院における 臨時精神科外来の現状

■「精神科」の標榜をしていない

- ・初診料・再診料のみの請求
 - ・自立支援医療制度は適用外
 - ・自立支援や障害年金等に関する書類が書けない
- 被災者: 無料
それ以外: 3割

➡ 福祉手帳の更新期限は24年2月末まで延期可

■院外処方箋・医療情報提供書等は、院長名で出す

■外来の場所が定まらない

(例: 昨日は脳外科と小児科、今日は皮膚科・整形外科)

■診察をする医師が毎回異なる

➡ できるだけ「第〇週の〇曜日」という形で1~2回/月
お願いできればと考えている

仮設住宅へのアプローチ(新地町・相馬市・南相馬市)



- 「いつもここで一休みの会」
- 「サロン」
- 全戸訪問(11・3・7月)

「相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会」構想図

相馬市保健センターおよび
南相馬市原町保健センターでの活動

- 「ちょっとここで一休みの会」



職員の心の相談/健診:年1回

- 相馬広域消防署員
- 高校教員
- 新地ホーム
- 役所/役場職員



未受診者・治療中断者の治療導入への支援

- 相談
- 訪問

精神科医療保健福祉
関係者へのアプローチ

- 研修会
- 定期ミーティング
- DVD作成

精神科小規模
デイケア

訪問看護
(24時間対応)

入院ベッド(2~3床)
(危機介入・レスパイトケア)

巡回車の運行

訪問

搬送方法の確立

中通りの病院へ

福祉施設(地域活動支援センター/
グループホーム等)

自宅

今後の予定

9月25日: NPO法人「相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会」設立総会の開催

→ 県へ書類提出

10月中: 医療法人の立ち上げについて検討開始

11月下旬: NPO法人の認可予定 → 委託費の入金

2011年1月: 建物の改装

目 標

2012年初頭に、クリニック、および、こころのケアセンターを開所する！

こころのケア・チーム(案)

- ・厚労省の三次補助予算で
- ・県精神保健福祉協会に本部をおき、各地区にチームを
- ・福島医大、福島県のこころの健康調査へも対応